



2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月13日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL http://www.moresco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 両角 元寿
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 藤本 博文 TEL 078-303-9220
 四半期報告書提出予定日 2021年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	6,656	13.1	520	265.0	721	—	1,095	—
2021年2月期第1四半期	5,884	△13.2	142	△54.0	24	△93.7	△17	—

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 1,599百万円 (—%) 2021年2月期第1四半期 △426百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	116.80	—
2021年2月期第1四半期	△1.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	28,001	19,506	61.1	1,823.49
2021年2月期	27,707	18,163	57.4	1,695.81

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 17,096百万円 2021年2月期 15,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,830	5.5	1,170	38.9	1,470	42.8	1,200	131.7	127.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2021年6月9日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことを決議しております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	9,696,500株	2021年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	321,070株	2021年2月期	321,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	9,375,430株	2021年2月期1Q	9,598,542株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

2021年7月20日に、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 製品およびサービスに関する情報	9
(2) 海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中を中心に輸出が増加したことから外需は堅調であったものの、国内での新型コロナウイルス感染拡大による防疫措置強化を受けて内需は悪化し力強さを欠く状況となりました。一方海外では、中国や欧米をはじめとして各国でのワクチン接種が進展し、経済は正常化に向かいつつありますが、その過程で生じた半導体や海上コンテナ等の供給不足が生産活動の制約となり、回復の度合いやスピードは地域や業種、業態によりまだら模様となりました。

このような状況のもと当社グループにおいては、各国での自動車生産の回復を背景に、売上高は6,656百万円（前年同期比13.1%増）となり、営業利益は520百万円（前年同期比265.0%増）、為替差益および持分法による投資利益の計上により経常利益は721百万円（前年同期は24百万円の利益）となりました。また、賃貸用不動産の売却益を特別利益に計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,095百万円（前年同期は17百万円の純損失）となりました。セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

①日本

(特殊潤滑油)

国内自動車生産は半導体の供給不足が足かせとなったものの回復基調で推移しました。このような状況の中、潤滑油製品全般で売上は増加しましたが、その中でも顧客での生産性向上に資する少量塗布型ダイカスト離型剤や新規拡販に注力している切削油剤および熱間鍛造潤滑剤の売上が順調に推移しました。

(合成潤滑油)

国内自動車生産の回復と旺盛な中国需要を背景に、グリース基油用途での高温用潤滑油が増収となりました。一方、ハードディスク表面潤滑剤については、中期的にはデータセンター用途でのHDD（ハードディスクドライブ）需要の増加が見込まれるものの、足元ではローカルストレージ分野でのSSD（ソリッドステートドライブ）への置換の影響を受け、減収となりました。

(素材)

流動パラフィン、ポリスチレン可塑剤および化粧品用途が増収となった一方で、採算性を踏まえて一部取引の見直しを行ったことにより減収となりました。

金属加工油の添加剤として使用されるスルホネートは、国内自動車生産の回復により増収となりました。

(ホットメルト接着剤)

自動車内装用途、粘着用途、フィルター用途は増収となった一方で、主力の衛生材用途が前年同期比微減で推移したことにより、全体では前年同期並みの売上となりました。

(エネルギーデバイス材料)

有機EL用封止材の輸出とガス・水蒸気透過度測定装置による受託分析が好調に推移したことにより増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は5,019百万円（前年同期比14.2%増）となり、セグメント利益は325百万円（前年同期比368.1%増）となりました。

②中国

いち早く経済の立て直しを果たした中国においては、自動車生産は一昨年の実績を超える水準で推移しました。このような状況の中、潤滑油製品全般で売上は増加しました。注力製品である少量塗布型ダイカスト離型剤の拡販も順調に推移しました。ホットメルト接着剤についても、フィルター用途および自動車内装用途が好調に推移したことにより増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は918百万円（前年同期比70.5%増）となり、セグメント利益は113百万円（前年同期は7百万円の利益）となりました。

③東南／南アジア

当社グループが所在する他の地域に比べ、足取りは弱いものの経済は回復基調で推移しました。自動車関連業界においては、今後の本格回復に備えて在庫を積み増す動きが出始めました。このような状況の中、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は増収となりました。また、ホットメルト接着剤についても売上は堅調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は1,142百万円（前年同期比6.5%増）となり、セグメント利益は50百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

④北米

世界的な半導体の不足と寒波の影響を受けた石油関連製品の供給停滞が足かせとなり、自動車生産は前年同期並みの水準にとどまりました。このような状況の中でも、少量塗布型ダイカスト離型剤および切削油剤の拡販により特殊潤滑油は増収となりましたが、スルホネートの減収により売上は前年同期比微増となりました。

この結果、当セグメントの売上高は209百万円（前年同期比3.4%増）となり、セグメント利益は35百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,108	4,521
受取手形及び売掛金	6,643	6,479
商品及び製品	2,524	2,686
原材料及び貯蔵品	1,718	1,979
その他	338	567
貸倒引当金	△27	△23
流動資産合計	15,304	16,210
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,552	3,363
機械装置及び運搬具(純額)	1,804	1,759
土地	2,422	1,954
その他(純額)	741	734
有形固定資産合計	8,518	7,811
無形固定資産		
のれん	347	315
その他	445	427
無形固定資産合計	792	742
投資その他の資産	3,093	3,238
固定資産合計	12,403	11,791
資産合計	27,707	28,001
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,975	3,925
短期借入金	2,544	1,119
未払法人税等	109	619
賞与引当金	441	221
その他	1,052	1,382
流動負債合計	8,121	7,267
固定負債		
長期借入金	775	660
退職給付に係る負債	494	498
その他	155	70
固定負債合計	1,424	1,228
負債合計	9,545	8,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,976	1,976
利益剰余金	12,132	12,992
自己株式	△390	△390
株主資本合計	15,836	16,697
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	37
為替換算調整勘定	△117	208
退職給付に係る調整累計額	152	153
その他の包括利益累計額合計	63	399
非支配株主持分	2,264	2,410
純資産合計	18,163	19,506
負債純資産合計	27,707	28,001

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	5,884	6,656
売上原価	3,978	4,332
売上総利益	1,905	2,324
販売費及び一般管理費	1,763	1,805
営業利益	142	520
営業外収益		
受取利息	9	5
受取配当金	2	1
持分法による投資利益	44	61
為替差益	—	123
その他	10	17
営業外収益合計	65	208
営業外費用		
支払利息	2	3
為替差損	180	—
その他	2	3
営業外費用合計	184	6
経常利益	24	721
特別利益		
固定資産売却益	—	833
特別利益合計	—	833
税金等調整前四半期純利益	24	1,555
法人税、住民税及び事業税	130	573
法人税等調整額	△98	△194
法人税等合計	32	379
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8	1,176
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	81
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	1,095

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8	1,176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	15
為替換算調整勘定	△412	383
退職給付に係る調整額	4	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	25
その他の包括利益合計	△418	423
四半期包括利益	△426	1,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△304	1,431
非支配株主に係る四半期包括利益	△122	167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)
報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,123	497	1,066	198	5,884	—	5,884
セグメント間の内部 売上高又は振替高	272	42	7	4	324	△324	—
計	4,395	539	1,072	202	6,208	△324	5,884
セグメント利益	69	7	48	28	153	△10	142

(注)1. セグメント利益の調整額△10百万円には、たな卸資産の調整額△10百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年5月31日)
報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,537	830	1,080	209	6,656	—	6,656
セグメント間の内部 売上高又は振替高	481	88	62	—	631	△631	—
計	5,019	918	1,142	209	7,288	△631	6,656
セグメント利益	325	113	50	35	523	△3	520

(注)1. セグメント利益の調整額△3百万円には、セグメント間取引消去4百万円、たな卸資産の調整額△6百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第1四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年5月31日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
化学品事業	6,648	113.2%
特殊潤滑油	3,083	125.1%
合成潤滑油	503	95.7%
素材	807	93.6%
ホットメルト接着剤	1,671	102.8%
エネルギーデバイス材料	57	259.6%
その他	528	141.8%
賃貸ビル事業	8	63.3%
合計	6,656	113.1%

(2) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年5月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	2,222	246	42	2,510
II. 連結売上高(百万円)				6,656
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	33.4	3.7	0.6	37.7

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール、インド

北米……………米国、メキシコ

その他……………オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。